

**製品名: MMP13 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21559**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:60kD;Observed MW:60kD

**抗原情報**

遺伝子名	MMP13
別名	MMP13;Collagenase 3;Matrix metalloproteinase-13;MMP-13
遺伝子 ID	4322.0
SwissProt ID	P45452
免疫原	ヒト MMP13 の合成ペプチド

**背景**

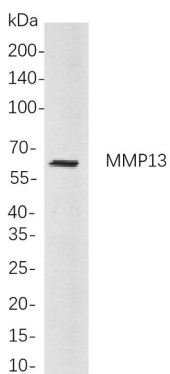
細胞局在: 分泌型。この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) のペプチダーゼ M10 ファミリーに属するタンパク質をコードする。このファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングといった正常な生理過程、ならびに関節炎や転移

といった疾患過程における細胞外マトリックスの分解に関与している。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成する。このプロテアーゼは、I型およびIII型コラーゲンよりもII型コラーゲンをより効率的に分解する。関節軟骨のターンオーバーや、変形性関節症に関連する軟骨の病態生理に関与している可能性がある。この遺伝子の変異は、骨幹端異形成症と関連している。この遺伝子は、11番染色体上のMMP遺伝子クラスターの一部である。[RefSeq提供、2016年1月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞ライセートのウェスタンブロット解析

MMP13 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。